江南市
地域まちづくり補助事業
令和９年度分　募集要領

江南市地域まちづくり補助金は･･･
地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていこうとする事業に対して補助を行い、地域の自治力を高めていくことを目的としています。
【定義】地域：おおむね小学校区以上の範囲

募集期間:令和8年10月2日(金)~11月13日(金)

問合せ・申請書などの提出先
江南市役所　企画課　政策・協働グループ
〒483-8701　江南市赤童子町大堀90
E-mail：seisaku@city.konan.lg.jp
電話：0587-54-1117　FAX：0587-54-0800

※申請書などの様式は、企画課と地域交流センターでお渡しします。
また、市ホームページからもダウンロードできます。
（江南市ホームページ　https://www.city.konan.lg.jp/）
サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。

◆目次

対象となる事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

事業例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

事業者の要件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

事業の要件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

補助の対象となる経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

手続きの流れとスケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

応募について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

説明会・相談会について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

審査・選考方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

事業の実施と成果の報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

交付実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）・・・・・・・・・・ 11

申請書の記載例（つながろう！連携コース）・・・・・・・・・・ 15

◆対象となる事業

対象となる事業は２コースあります。どちらかを選択して、申請してください。

ひろげよう！展開コース

今、地域に何が必要で何に困っているか、地域で生活する住民だからこそ気づく地域の課題がたくさんあります。そこで「ひろげよう！展開コース」では、その解決の糸口となる地域住民の主体的な活動を応援し、この事業の実施が活動を充実させ、活動の展開・地域への定着につながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の３月３１日までの期間	上限１０万円	上限８０％ （千円未満切捨て）

つながろう！連携コース

地域が今後、更に成長・発展していくためには、個々の団体の活動内容が充実していくとともに、複数の団体が力をあわせて地域の課題解決にあたることが大切です。そこで「つながろう！連携コース」では、団体間の連携を応援し、この事業の実施が活動分野・地域の異なった団体間のネットワークづくりへとつながることを期待します。

補助期間	補助金額	補助率
補助金の交付の決定を受けた日から、当該交付の決定を受けた日の属する年度の３月３１日までの期間	上限 20 万円	上限 90％ （千円未満切捨て）

◆事業例

地域で活動する団体などが工夫を凝らして、地域がつながり地域を良くしていこうとする取り組みが行われています。

過去に実施された補助事業の例を紹介します。これから皆さんが「協働のまちづくり」に向けた取り組みを検討する際の参考にしてください。

実施団体：えこすく（ecology school）
コ ー ス：ひろげよう！展開コース
補 助 額：100,000 円
事 業 名：SDGs ワークショップで学ぼう！感じよう！考えよう！
事業内容：「SDGs」に親しむためのワークショップや観劇などを通じて、子どもたちが自分と環境・社会とのつながりに興味を持ち、視野を広げ、行動したいと思う機会を提供すると同時に、より多くの世代に「SDGs」について関心を持ってもらえることを目指し、次世代を担う子どもたちが周りを巻き込んでいく体験を通して、リーダーとなる意識をもっていくことを期待し、事業を実施する。

成　　果：「ＳＤＧｓ」を切り口に、各回テーマを設け、講義とワークショップを組み合わせた講座イベントを４回開催した。子どもたちだけでなく保護者の参加も多く、アンケートでは「ＳＤＧｓへの関心が高まった」との回答が多いことから、事業の目的である「ＳＤＧｓに興味関心を持ち、わがこと意識を育ててもらう」という点において、一定の効果があった。

実施団体：布袋区
コ ー ス：ありがとう！江南市 70 周年コース※このコースは終了しました。
補 助 額：50,000 円
事 業 名：区民全員の命を守りたい「安心感のある街へ」
～布袋区から発信する防災のしおり作成を通じた住民繋がり事業～
事業内容：住む人ひとりひとりが「安心感」を感じられるように、もう一度自分が住んでいる町を見つめ、災害に対し、自助・共助を考えられるような冊子作りを、住民の協働で行い、全戸配布することにより、住み続けたい町、人と人が繋がる町への気運を高める活動とする。

成　　果：多くの住民から防災に対する意見を得ることができ、冊子に畳敷きで高齢者に利用しやすい避難施設の紹介を加えたり、断水時の給水袋を区として用意しておく必要性などを再確認する機会となり、地域全体で防災意識の向上が図られた。作成した冊子は、全戸配布を行い、また、他の地区でも参考にできるよう市へ提供した。

◆事業者の要件

対象となる事業者は次のような団体です。

①区・町内会　　②老人クラブ　③子ども会　④商店街振興組合　⑤PTA
⑥地域コミュニティ協議会　⑦NPO 等市民活動団体　など

ただし、次の団体は対象外とします。

- 政治活動または宗教活動を目的としている団体
- 暴力団、暴力団員が役員となっている団体、または暴力団、暴力団員と密接な関係を有している団体
- 過去に２回以上「ひろげよう！展開コース」で補助金を受けた団体
- 過去に「つながろう！連携コース」で補助金を受けた団体

◆事業の要件

①両コース共通の要件

- 営利を目的とした事業ではないこと
- 商品の購入や製作のみを目的とした事業ではないこと
- 地域の理解が得られる事業であること
- 新たに始める事業であること。または、既存の事業であっても、補助を受けることで事業の拡大・発展等の効果が得られること
- この補助金以外の補助金などを受けていない、または、受ける予定のない事業であること

②つながろう！連携コースの要件

- ２つ以上の団体が協力して行う事業であること
  ※なお、申請時に協力して行う団体間で、事業の実施及びこの補助金の申請に関して合意が得られていることを条件とします。

◆補助の対象となる経費

補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1)　報償費	団体構成員以外の講師、専門家、出演者等への謝礼、調査・研究等に係る報償費等 ただし、団体構成員であっても、他団体から派遣され講師等をする場合は、対象とする。	・商品券等の金券の購入代金 ・記念品等の購入経費 ・参加賞（お菓子、ノベルティなど）の購入経費
(2)　交通費	講師との打合せなどの交通費等 （公共交通機関かタクシーなど領収書が発行される交通手段）	旅行を目的としたイベントの旅費、ガソリン代
(3)　印刷費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費	
(4)　消耗品費	材料、消耗品等の購入費 ※1 品あたり 1 万円以上は物品費	
(5)　物品費	1 品あたり 3 万円を超えないもの ただし、1 万円未満のものは、消耗品費として計上する。	
(6)　通信料	郵便料、運搬料、振込手数料	電話代、FAX 代
(7)　保険料	ボランティア活動保険などの保険料	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(8)　委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(9)　使用料、賃借料	会場等の使用料、機器類の貸借（レンタル）料等	家賃（敷金、礼金を含む）
(10)　食糧費	講師の飲み物や熱中症対策など最低限必要な飲み物 **※原則として参加者には飲み物を持参するように呼びかけること。**	食事、アルコール類

※その他（事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの）が必要になった場合には、随時、設けることとする。

①その他の補助対象外経費

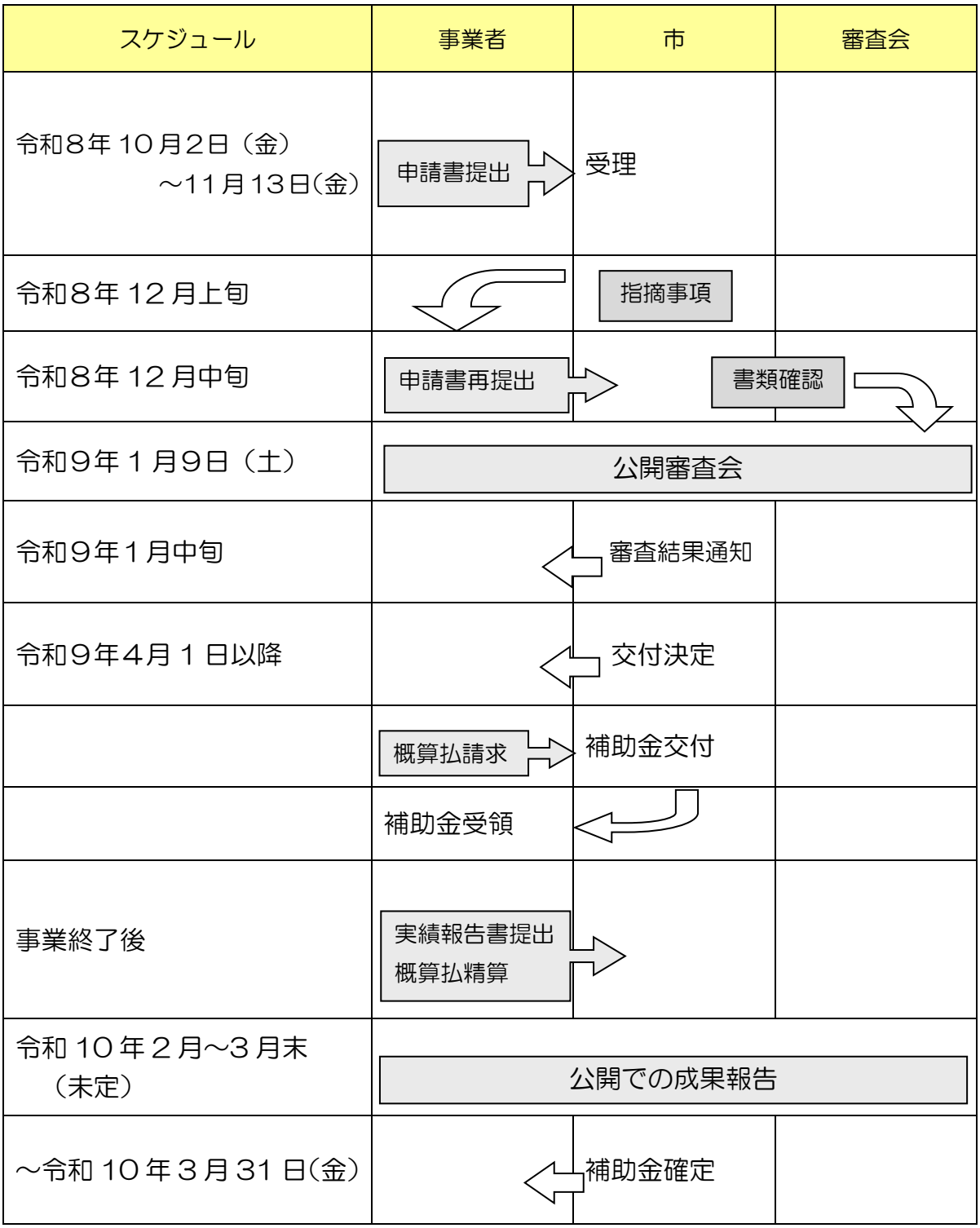
- 土地の取得、造成、補償に関する経費
- 団体の経常的な運営に関する経費（事務局経費など）
- 領収書等により支払ったことを明確にすることができない経費
- その他事業実施に直接関係のない経費、市長が社会通念上適切でないと認めた経費等

②参加者の費用負担について

- ○○づくり講座などで、参加者から材料費などとして参加料を取ることが適当な場合は、「この事業による収入」として計上してください。

◆手続きの流れとスケジュール

補助金の申請から交付、報告までは次のような流れとなります。
交付決定は、交付年度に入ってから（４月１日以降）となります。



※公開審査会では、再提出された申請書で審査します。

◆応募について

①募集期間

令和８年 10 月２日（金）～11 月 13 日（金）※必着

②交付申請書

募集期間中に以下の書類を市役所企画課に提出してください。

メール（seisaku@city.konan.lg.jp）による提出も可能です。

⑴　江南市地域まちづくり補助金交付申請書

⑵　事業計画書

団体概要　※団体の収支決算書または予算書、規約、会則等の添付必須

⑶　申請事業収支予算書

※交付申請書等につきましては、鉛筆、消せるボールペンで記入しないよう注意してください。

※申請書の提出にあたり、**応募相談会に必ず参加してください。**

◆説明会・相談会について

①応募説明会（任意）

補助金制度や申請書の記載方法について説明会を行います。

日時　９月 18 日（金）午後７時 30 分～午後８時 20 分

場所　地域交流センター　会議室１

申込　説明会の前日までに電話、申込フォーム
または直接地域交流センター（TEL58-5771）へ

②**応募相談会**　※申請書の提出にあたり、**相談会に必ず参加してください。**

募集期間中、事業計画の立て方や活動内容を的確に伝える申請書の書き方などについて、地域交流センタースタッフが個別に相談に応じますので、この機会を必ず活用してください。**事前に予約が必要です。**

日時　10 月２日（金）～11 月 13 日（金）
午前 10 時～午後４時（木曜日を除く）

場所　地域交流センター

申込　相談希望日の３日前までに電話、申込フォーム
または直接地域交流センター（TEL58-5771）へ

申込フォーム

◆審査・選考方法

提出いただいた申請書類に基づき、公開審査会で応募（申請）者の方にヒアリング（質疑応答）を行います。

※公開審査会に出席できない場合は、補助金を受けることはできません。

①公開審査会

日　時：令和９年１月９日（土）午後１時 30 分～

場　所：地域交流センター　会議室

審査員：江南市地域まちづくり補助事業審査委員会委員

②審査項目と配点

「ひろげよう！展開コース」

審査項目		配点
⑴　目的の明確性	・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。	10
⑵　公益性	・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。	10
⑶　社会状況・市民ニーズの把握	・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。	10
⑷　実現性	・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。	10
⑸　情報の開示性	・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。	5
⑹　展開性	・発展的活動、地域への定着・拡大が期待できるか。 ・補助期間終了後も、事業が継続される見込みはあるか。	5
合計		50

「つながろう！連携コース」

審査項目		配点
⑴　目的の明確性	・事業の目標は明確か。 ・事業実施によって市民協働の活動が拡大していく可能性はあるか。	10
⑵　公益性	・広く江南市民の役に立つ事業であるか。 ・地域の課題解決に役立つ事業であるか。	10
⑶　社会状況・市民ニーズの把握	・時代の要求や社会状況、市民ニーズなどに即した内容であるか。 ・市民の共感が得られる事業であるか。	10
⑷　実現性	・事業内容、実施方法、スケジュール、予算などから見て実現可能か。 ・事業を十分に実施できる組織の体制か。	10
⑸　情報の開示性	・広報活動や成果報告等を積極的に行おうとしているか。 ・事業計画書、予算書等は第三者が見ても分かりやすいか。	5
⑹　先駆性	・内容、手法に先駆性があり、新たな事業展開が考えられるものか。 ・行政が実施するより効果的または開拓的な事業であるか。	5
合計		50

③採択方法

両コースとも、各審査員が地域まちづくり補助事業として 3 ページの事業の要件に適合しているか及び50点満点の評価を行い、審査員の過半数が適合すると判断し、かつ平均点が 30 点以上のものについて、地域まちづくり補助金の予算の範囲内において、点数の高い順から採択していきます。

（例）予算 60 万円の場合（事業の要件に適合し、かつ平均点 30 点以上の事業を予算額内で採択）

点数	適合性※	申請額	採択	
45	7／7	20 万円	○	
37	7／7	10 万円	○	
35	7／7	10 万円	○	
34	6／7	8 万円	○	
32	7／7	10 万円	○	累計 58 万円
30	7／7	10 万円	×	
33	3／7	10 万円	×	
28	6／7	20 万円	×	

※適合性は審査員のうち事業の要件に適合すると認めた割合。
（審査員のうち適合するとした数／総審査員数）

④交付決定、支払い

審査を経て、補助対象事業候補を決定しお知らせします。（１月中旬）

補助する事業と補助金の額の正式な決定は４月になります。

補助金は原則として概算払（全額または一部）でお支払いします。（4 月下旬）

◆事業の実施と成果の報告

①事業の実施

令和９年４月～令和１０年３月

②実績報告書

事業終了後速やかに、以下の書類を提出していただきます。

⑴ 江南市地域まちづくり補助金実績報告書

⑵ 実施報告書

※事業で作成したチラシやポスター、実施状況がわかる写真などを添付してください。

⑶ 補助事業収支決算書

※必ず領収書（コピー不可）を添付してください。

③公開の報告会または掲示

令和１０年２月～3 月に、事業成果の報告会または掲示をしていただきます。

◆その他

当市が必要と認めた場合は、事業の実施途中及び完了後に関わらず、事業に関する範囲内で調査及び監査を行います。

補助金の交付を受けた団体は、作成するチラシやポスターに「江南市地域まちづくり補助事業」である旨を明示してください。また、広報こうなんへの掲載やＰＲの場への出席など、当事業の周知に協力してください。事業で作成したチラシやポスターなどは、実績報告書とともに提出していただきます。

「公正性」「透明性」を高めるとともに地域まちづくりの促進のため、補助金の交付額、事業内容及び活動報告等については、市ホームページへの掲載その他の方法により公表します。

◆交付実績

令和８年度江南市地域まちづくり補助事業一覧

◇ひろげよう！展開コース ４事業

事業名	実施団体	事業内容
広げよう防災意識と市民の輪 ～防災無線網構築に向けて～	ふじのはなアマチュア無線クラブ	小中学生向けに「防災グッズの作成～電子工作教室」を開催します。教室では、アマチュア無線を使った無線通信も体験できます。災害時に役立つアマチュア無線について学び、防災への関心を深めることを目的に、年間３回の開催を予定しています。
ママのためのリラクゼーションタイム	まちづくり木曽川「ママとキッズとパパ」の会	子育てを頑張っているママのために、同じ建物内で保育士に子どもを預かってもらえる安心感のもと、すいとぴあ江南の大浴場や食堂、宿泊施設としての機能を利用することにより、ストレスを緩和して自分を癒す時間を過ごしてもらえるリラクゼーションタイムを提供します。心も体もリフレッシュして幸せな気分で子育てができることを願っています。
遊休地水田での栽培時無農薬化学肥料不使用コメ作り体験を通じての地域活性化	今市場公会堂推進委員会	遊休地水田を有効活用し、有機米の手作りコメ作り体験を通じて子どもたちに「食」と「命」の大切さを体験していただきます。五感を通じた自然体験により「生きる力」の育成と地域の人達との交流で社会性や信頼性を学ぶ機会になる活動です。
みんなで祝おう！森のおたんじょうび会	特定非営利活動法人おさんぽや	フラワーパーク江南の新エリア「ふるさとの森」で、地域のこどもたちの誕生日をみんなで祝い、同じ地域で子育てをする参加者同士が交流できる「安心安全な居場所」を作っていきます。たくさんの緑にあふれ、街中とは違い大きな木々に囲まれた静かな「ふるさと森」を、世代を超えた地域の憩いの場所として活用します。

◇つながろう！連携コース　１事業

事業名	実施団体	事業内容
ノルマル 17 歳ーわたしたちは ADHDー 上映会と参加者交流会	・ジャスミンの会 ・ホントモ江南	不登校の子供たちの中には神経発達症（発達障害）の特性により生きづらさを抱える子も少なくありません。本事業では映画『ノルマル 17 歳。わたしたちは ADHD』を通じ理解を深め、交流会を実施します。参加者が支援者の会「ジャスミンの会」と繋がり、江南市およびその近隣地域で親子が孤立しにくい支援体制の構築を目指します。

過去の交付事業、実施の様子は、市ホームページ「江南市地域まちづくり補助事業の今」のページでご覧いただけます。
（江南市ホームページ　https://www.city.konan.lg.jp/）
サイト内検索で「江南市地域まちづくり補助事業」または、ページ番号から検索で「1001759」で検索してください。

◆申請書の記載例（ひろげよう！展開コース）

江南市地域まちづくり補助金（ひろげよう！展開コース）　事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1　団体概要

名称	**〇〇〇の会**				
代表者	**江南　太郎**	設立年月	**平成 20 年 4 月**	会員数	**10 人**
住所	**〒483-〇〇〇〇　江南市〇〇町〇〇〇〇番地**				
連絡先	TEL：**0587-〇〇-〇〇〇〇**		TEL：**0587-〇〇-〇〇〇〇**		
	E-mail：**seisaku@××△△.jp**				

設立の目的・これまでの活動内容等

設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。

これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートを行っています。

団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる

※過去に展開コースで採択された回数（　０回）

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、ＰＴＡは添付する必要はありません。）

※展開コースの採択の上限は２回までです。

2　単年度事業計画（**令和〇〇**年度に取り組もうとする活動内容）

① 事業名

気軽にクラシック

今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体でやってきた活動の課題ではありません）

② 問題意識

事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。

クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。

しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。

また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも３０分～１時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったりすることができる参加型演奏会を実施します。

できるだけ具体的に記入

③ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

内容：有名なクラシック曲や子どもに人気な楽曲を中心とした参加型演奏会
方法：キーボード、バイオリン、サックス、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。
会場：保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等
対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）
時間：１時間のプログラム
実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。
周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。

できるだけ具体的に記入

④ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、**令和〇〇**年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4 月中旬	**保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ**
5 月～6 月	**楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習**
7 月～3 月	**各地区で演奏会を開催**
12 月〇日	**市民文化会館（音楽室）で演奏会**
2 月～3 月	**次年度の楽曲選定・練習**

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで家族のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

⑥ 将来展望　将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえるよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック

【支出】　（単位：円）

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	0	
	交通費	0	
	印刷費	10,000	チラシ印刷代　5 種類×2,000 枚＝10,000 円
	消耗品費	26,760	楽譜（クラシック名曲集）　5,000 円 楽譜　7,560 円 延長コード　4,000 円 マイク　7,400 円、 マイクスタンド　2,800 円
	物品費	46,450	アンプ　29,800 円 スピーカー　16,650 円
	通信料	1,840	切手代　92 円×20 枚＝1,840 円
	保険料	12,500	来場者用傷害保険　10,000 円 ボランティア保険　250 円×10 人
	委託料	20,000	楽曲アレンジ　1 曲 10,000 円×2 曲＝20,000 円
	使用料、賃借料	4,300	会場借上げ料（市民文化会館音楽室）2,150 円×2 区分＝4,300 円
	食糧費	0	
	合計 **A**	121,850	
対象外経費	お菓子代	13,800	お茶菓子　13,800 円
	お茶	6,000	打合せ用　125 円×月 4 回×12 ヶ月＝6,000 円
	合計	19,800	
合計		141,650	＝「事業費総額」

1 万円未満

1 万円以上 3 万円未満

ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外です。
（詳しくは、募集要領 4 ページ）

【収入】　（単位：円）

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 **B**	10,000	参加者負担金　200 円×50 人＝10,000 円
地域まちづくり補助金 **C**	89,000	
自己資金 **D**	42,650	
合計	141,650	＝「事業費総額」

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

※**C**、**D**は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計**A**		この事業による収入**B**			補助率（8）		地域まちづくり補助金**C**
（ 121,850	−	10,000 ）	×	8	/10	=	89,000

（1,000 円未満切捨て）

「事業費総額」		この事業による収入**B**		地域まちづくり補助金**C**		自己資金**D**
141,650	−	10,000	−	89,000	=	42,650

◆申請書の記載例（つながろう！連携コース）

江南市地域まちづくり補助金（つながろう！連携コース）　事業計画書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

1　団体概要

※団体の規約または会則、直近の収支決算書または予算書を添付してください。（区・町内会、老人クラブ、子供会、ＰＴＡは添付する必要はありません。）

※連携コースの同一団体での採択の上限は１回までです。

① 代表団体

名称	○○○の会				
代表者	江南　太郎	設立年月	平成 20 年 4 月	会員数	10 人
住所	〒483-○○○○　江南市○○町○○○○番地				
連絡先	TEL：0587-○○-○○○○		TEL：0587-○○-○○○○		
	E-mail：seisaku@××△△.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
設立の目的：音楽を通じて心身を癒し、誰でも気軽に音楽を楽しみ、心穏やかに過ごすことのできる社会をつくることを目的に設立しました。 これまでの活動内容：地域の老人クラブ、企業イベント等でコンサートを行っています。					

団体の設立の目的やこれまでの活動を簡単にまとめる

② 連携団体（複数ある場合は、記入枠を複写し、各々の団体分記載してください。）

名称	△△△クラブ				
代表者	江南　花子	設立年月	平成 21 年 4 月	会員数	48 人
住所	〒483-□□□□　江南市□□町□□□□番地				
連絡先	TEL：0587-□□-□□□□		TEL：0587-□□-□□□□		
	E-mail：konan@○○××.jp				
設立の目的・これまでの活動内容等					
設立の目的：地域の子どもに対して、文化活動、社会活動の機会の提供し、子どもの豊かな感性を伸ばし、青少年の健全育成に寄与することを目的に設立しました。 これまでの活動内容：乳幼児保育事業、親子の自然体験教室、舞台・芸術鑑賞会、子育てに関する講演会や研修会を開催しています。					

2 事業計画（令和〇〇年度に取り組もうとする活動内容）

今回申請する事業を始めようと思ったきっかけとなる地域課題や社会的な問題について記入（これまで団体でやってきた活動の課題ではありません）

① 事業名

気軽にクラシック

② 問題意識

事業をはじめようと思ったきっかけについて具体的に記載してください。

クラシック音楽には、ストレス解消やリラックス効果、心身の健康維持及び脳の活性化等の効果があります。

しかしながら、演奏会やコンサートと聞くと「敷居が高い」「堅苦しい」「騒がしくしてはいけない」等の理由から敬遠されがちです。

また、通常の演奏会だと休憩時間を迎えるまでに短くとも３０分～１時間を超えることもあり、演奏が始まってからの退席は難しいことなどがあげられることから、子育て中のママは、小さな子ども連れではなかなか落ち着いて演奏を楽しむことができないのが現状です。

そこで、小さな子どもを持つ親子が参加できるよう、有名なクラシック曲からポップスまで親しみやすい楽曲を中心に、一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かすことができる参加型演奏会を実施します。

③ 事業の内容及び実施方法

内容、方法、場所、誰・何を対象に、どれだけなど、事業の具体的な実施内容を記載してください。また、組織体制、内容、手法、情報公開など、事業実施にあたっての工夫についても記載してください。

内容：有名なクラシック曲や最近のポップス、子どもに人気な楽曲を中心とした参加型演奏会

方法：キーボード、バイオリン、サックス、ボーカル担当が各一人ずつ演奏します。

会場：市内の公民館、保育園、子育て支援センター、市民文化会館（音楽室）等

対象：誰でも参加可（主に子育て世代対象）

時間：１時間～1 時間 30 分のプログラム

実施内容：有名なクラシック曲をはじめ、子どもに人気の曲をみんなで演奏し、参加することで、より音楽に親しみを持ってもらいます。また、リズムに合わせて体を動かすことで自律神経の健やかな発達を促し、心と体のバランスを整えるリトミックを行います。

周知方法：チラシを作成し、地区の回覧や保育園、子育て支援センター等で配布し、周知を図ります。

できるだけ具体的に記入

④ 事業のスケジュール

準備から事業終了まで、令和〇〇年度内のスケジュールを具体的に記載してください。

日程	予定
4 月中旬	**連携団体と打合せ、地区の代表者や保育園、子育て支援センターと会場・日程の打合せ**
5 月～6 月	**楽曲選定、楽譜と備品の購入、練習**
7 月～3 月	**各地区で演奏会**
12 月〇日	**市民文化会館（音楽室）で演奏会**
2 月～3 月	**次年度の楽曲選定・練習**

できるだけ具体的に記入

⑤ 期待される効果

地域住民や今後のまちづくりに向けてどのような効果が期待できるか記載してください。

楽器の演奏を近くで聴く事によって、日常生活では体験できない音や振動を直接肌で感じることができ、五感を刺激することでストレス解消とリラックス効果が得られ、心身の健康維持及び脳の活性化につながります。

また、子育て中の親子の交流を図り、参加形式にすることによって、感動したこと、楽しかったことを互いに伝え合うことで親子のコミュニケーションのきっかけになると考えています。

事業実施によって地域課題や社会的な問題にどのような効果があるのか記入

⑥ 将来展望　将来の事業展開について

※今後、どのように事業を継続、展開していきますか。補助期間終了後の活動について記載してください。

今後は、他の団体とも連携しながら、さらに多くの人に音楽を聴く楽しさを体験してもらえるよう、演奏会の回数を増やし、小さな子どもからシニア世代まで参加者がいっしょにリズムを感じながら体を動かせるようなプログラムを考え、ストレス解消だけではなく、心身の機能向上と生活の質の向上などを目指していきたいと考えています。

⑦ 備考

その他、アピールしたいポイントなどがあれば記載してください。

申請事業収支予算書

※スペースが不足する場合は、記入枠を拡大して記載してください。

事業名	気軽にクラシック

【支出】　（単位：円）

項目		予算額	内訳・積算根拠
補助対象経費	報償費	20,000	講師謝礼（リトミック指導員）5,000 円×4 人＝20,000 円
	交通費	0	
	印刷費	10,000	チラシ印刷代　5 種類×2,000 枚＝10,000 円
	消耗品費	42,204	楽譜（クラシック名曲集）　5,000 円 楽譜　7,560 円 延長コード　4,000 円 マイク　7,400 円、 マイクスタンド　2,800 円 託児用マット　5,800 円×2 枚＝11,600 円 折り紙　540 円 画用紙　540 円 クレヨン　1,382 円×2 セット＝2,764 円
	物品費	46,450	アンプ　29,800 円 スピーカー　16,650 円
	通信料	1,840	切手代　92 円×20 枚＝1,840 円
	保険料	24,500	来場者用傷害保険　10,000 円 ボランティア保険　250 円×58 人
	委託料	20,000	楽曲アレンジ　1 曲 10,000 円×2 曲＝20,000 円
	使用料、賃借料	4,300	会場借上げ料（市民文化会館音楽室）2,150 円×2 区分＝4,300 円
	食糧費	1,250	スポーツドリンク（熱中症対策用）　125 円×10 本＝1,250 円
	合　計 **A**	170,544	
対象外経費	お菓子代	13,800	お茶菓子　13,800 円
	合計	13,800	
合計		184,344	＝「事業費総額」

1 万円未満

1 万円以上 3 万円未満

ガソリン代、電話代、家賃、食事等は対象外
（詳しくは、募集要領 4 ページ）

「消耗品一式」など内容の分からない記入はしない
金額の内訳が分かるようにできるだけ具体的な数字を記入

【収入】　（単位：円）

項目	予算額	内訳・積算根拠
この事業による収入 **B**	10,000	**参加者負担金　200円×50人＝10,000円**
地域まちづくり補助金 **C**	144,000	
自己資金 **D**	30,344	
合計	184,344	＝「事業費総額」

※**C**、**D**は、下記計算式により算出します。

補助対象経費合計**A**		この事業による収入**B**		補助率（9）		地域まちづくり補助金**C**
（ 170,544	－	10,000 ）	×	9 /10	＝	144,000

（1,000円未満切捨て）

「事業費総額」		この事業による収入**B**		地域まちづくり補助金**C**		自己資金**D**
184,344	－	10,000	－	144,000	＝	30,344